

Twins

少年たち

二人は本当の兄弟のように仲が良かった。二人はいつも一緒だった。ハルと名づけられた『弟』は『彼』をとても慕っていた。二人の閉ざされた部屋からは大海原が見渡せた。限りなく広がる太平洋は、荒れ狂う大きなうねりや、しんとした静寂や、海面に向かって鋭く光る稲妻などを見せてくれたけれど、『彼』が一番愛したのは太平洋を行き交う船だった。自由に大海原を駆け回る船を見つけると、酷く咳き込みながら大声で言った。「見て！ほら、船が行くよ。すごいなあ。大きいなあ」と、興奮して話続けた。そして、限らない空想へと広がっていくのだった。ハルは、『彼』の熱が上がるのを心配したけれど、話の腰を折るようなことはなかった。話をしている間、『彼』は海の上を自由に旅をしているのだとハルは思った。夜はハルの番だった。夜の海の満天の星空はハルのものだった。ハルは星の事を何でも知っていた。言葉はうまくはなかったが、『彼』は夢中で聞いた。ハルは星空を見つめすぎると悲しくなったが、ハルは泣いた事がなかったし、その気持ちをどう表したらよいか分からなかった。二人には両親がいなかった。ハルは生まれつき一人だった。ハルは『彼』の影のような目立たない少年だった。皆は、二人がそっくりだと言ったけど、ハルは似ているとは思わなかった。自分は『彼』のように美しい少年ではないと思っていた。それに歩行の様子が少々おかしいのではないかと気にしていたし、首の動かし方が右に回す時より左に回す方がごちないと感じていた。笑い方も不自然ではないかと気にしていた。二人は大の仲良しだったけれど、誰からも愛される『彼』と違い、身寄りのないハルはどこか寂しげだった。 ➔

とうとう、その日が来た。夜明けの海は美しく輝いていた。ハルは前の晩から、その部屋を出されていた。ハルは、『彼』に二度と会えなくなった。全てが終わった時、ハルは『彼』の祖父である博士に言った。「僕をそろそろおいとまさせて頂きたいのです。僕を『彼』の隣に埋めて欲しいのです。『彼』の隣で眠ってあげたら星のない暗い夜にも寂しい思いをしなくてすむでしょう？」老人は苦しげに、それはできない相談だとハルに言った。まだ幼い顔をしたハルがきっぱりと言った。「僕に『彼』なしでどう生きろと言うのです。僕にはもう役目がないのです。その為に貴方は僕を作ったのでしょうか？博士、貴方の仕事です。僕を『彼』と一緒に眠らせてください」老人は、何も言うことができなかった。



二人は、太平洋を見渡すの丘の上に並んで埋められ、輝く空の星は、彼らを永遠に見下ろした。

生まれながらに『両親』を持たなかったハルには、何をどう感じていいのか分からなかった。ハルの遺伝子には自分自身で自由に感じる事をプログラムされていないのだ。道端に捨てられた子猫さえ感じる心を持つ事ができない悲しみがあるだけだった。何をどう感ずればいいのか、何を喜びとし、何を悲しみとすべきか知らなかった。何を求めて生きるべきなのかを知らなかった。『彼』一人がこの世界のよりどころのすべてであった。『彼』の喜びを見てその喜びを感じ、『彼』の悲しみを感じて泣く事ができた。

ハルは人間の想像を超えた孤独という宿命を持って生まれ、クローンとしての役目を終えて、眠りについた。

Milk Hall Times

ミルクホールタイムスのバックナンバーは、ミルクホールのHPにて掲載しています。どうぞご利用下さい。

<http://www.milkhall.co.jp/>



また、定期購読を希望される方を募集いたしております。詳しくは裏面に記載しています。



COLUMN

鎌倉の猫事情 第六十五話

鈴木さんちの梅が咲いてしまいました。あそこの梅はこの界限では一番遅く最後に咲くはずなのです。手入れが行き届いた見事な枝振りの白い梅が、塀越しに恥ずかしそうにほんのりピンクに染まって咲くのです。鈴木さんちの梅が咲き始めると、いよいよ今年も鎌倉の梅の季節は終わるんだと、名残り惜しく思うものなのですが、どうも今年はまだその心の準備ができていません。心の準備が出来ていないのは私ばかりではないようで、天気の良い日に海辺を長い長い散歩をするのを日課としている義姉が、先ごろ道端で半分体を地面から覗かせて考え込んでいる蛙を見かけたそうです。可哀そうに思っていたスコップで助け出してやると、上半身は綺麗なのに、体半分は、すっかり泥まみれで、かなり長い間その格好で思い悩んでいた様子。あまりの温かさに目が覚めてしまったのでしょう。動物達も早すぎる春に困っています。こちら受難の日々を過ごしているグーニー君。歯を抜いたあとの傷が、ひと月経ってもふた月経っても一向にふさがりません。時折起こす激しい痛み発作のために見る影もなく弱ってしまいました。発作を起こすたびに獣医さんのもとへ駆け込んで注射を打ってもらってどうにか治まっています。前回の治療の時、これ以上注射の間隔が短くなるともっと強い薬に変えなければいけなくなってしまうと、恐ろしい警告を受けていました。これまでのところは、2週間に一度くらいの割合で発作を起こしています。ただ、何故そんな発作が起きってしまうのか、またどうして注射を打つと治まるのか、わかりませ ➔

ん。先生のお話によると口の中は傷が真っ赤だそうです。自分で治す免疫力がないと言う事なのでしょうが、そう聞いてもグーニーの体の中でいったい何が起きているのかは想像つきません。ともかく、いつもグーニーの顔色を注意して見て、食事に気をつけていました。注射をして何日かはちゃんとご飯を食べますが、そのうち食べなくなってきました。きっと口の中が痛くなって来るのでしょう。ミキサーよりもっと細かく粉碎出来るミルも購入して、流動食に出来るように、毎日食べ物を柔らかくしていきました。そして最後はミルクだけ、そのうちには、水も飲めなくなるのです。それでも、先生の教えを守ってともかく、注射の間隔が2週間より短くならないように努力しました。このまま発作が起きませんようにと、祈るような気持ちで見守っていたのですが、結局10日もすれば、あの、ギアアアという転がって痛がる恐ろしい発作が起きてしまいます。その上、ある日先生にまた恐ろしい宣告を受けることになりました。「栄養失調のために、脂肪肝になっています。小さな動物は充分な食物が取れないと体を守ろうとして脂肪肝になってしまうのです。もっと食べさせないとどんどん弱ってしまいますよ」「でも、どうすれば……」「とにかく食べさせるしかないのです」私は、始めて無力感を覚えました。 ————— to be continued



Milk Hall Now

ミルクホールタイムス定期購読者募集!



ミルクホールタイムス編集部

〒248-0006

鎌倉市小町2-3-8

PHONE 0467-22-1179

FAX 0467-24-9537

e-mail/ info @ milkhall.co.jp

ミルクホールタイムスご愛読頂くお客様へ
 本年より、毎月25日の定期刊行しております。
 定期購読して下さるお客様を募集させていただきます。
 定期購読の申し込みについては、当社経費の為年間1500円を、お納め
 頂くようお願いしたいと思います。定期購読お申し込みの方へは、
 毎月25日発行日に発送致します。準備の都合により定期購読は、4月号、
 3月25日の発行よりとなります。また今現在ご郵送しておりますお客様へ
 は、3月号までこのままご郵送続けさせていただきます。
 メール、FAX、お葉書などでお申し込みをお待ちしております。
 お支払い方法は、郵便振替にてお願いいたします。



WANTED

アルバイト募集

ウェ이터
 ウェイトレス
 及び パーテナー
 ★男女不問・18歳以上
 土日・祝日を含み
 週3~5日

ご希望の方は、ミルクホール
 にご連絡の上、
 簡単な履歴書をお持ち下さい。



LIVE

毎月第三土曜日の夜は
 ハーフムーンのライブで、
 MILK HALLのBAR TIMEを
 お楽しみください

3/17 Sat. pm 7:30

by HALF MOON

HALF MOONの音楽は
 愛と平和を歌います。

琢磨 仁 (Jin Takuma)
 琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

<http://www.e-half-moon.com/>

Information

ミルクホールタイムス 総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」No.001 ~ No.100
 一部 ¥1800

ミルクホールタイムス創刊号から100号まで全てを編集した、ミルクホール
 タイムス総集編を昨年、30周年を記念して発行いたしました。
 好評連載中の「鎌倉の猫事情」が第一話から前編最後まで掲載されており、
 また、ガラタ通信や、COLUM、ミルクホール開店当時の写真や逸話など、
 ミルクホール30年のあれこれを楽しめる本になっています。
 タイムス購読とあわせてご利用頂ければ幸いです。

新発売 グーニーモーニングセット発売!

鎌倉の猫事情でお馴染みのグーニー君の写真入です。

グーニーモーニングセット

ミルクマグ ¥1000

パン皿 ¥850

HISTORY

KAMAKURA

場所の記憶 No.12

ミルクホール その4 小町通りの事件

先月初め、小町通りの住人を騒然とさせる事件が、起こりました。夜の早い
 鎌倉で人通りが殆どなくなる八時頃、小町通りの中ほどで火の手が上がった
 のです。瞬く間に火の手はその一軒を焼き尽くしてしまいました。そこは
 「だるま薬局」と言う古くから地元の人たちに慕われた薬局でした。閉店後の
 出火で幸いけが人はなく、両隣への類焼もありませんでした。今後また営業
 を再開してくれるのかどうか心配です。愛想がよく親切な店員さん達と、ト
 タンの大きな看板に赤いだるまの絵が描いてあるのが名物の店でした。
 また、もう一つの事件が持ち上がっています。小町のトレードマークのあの赤
 い鳥居が取り壊されるという話が、商店会で話し合われているとか。老朽化が
 激しいというのがその理由です。あの鳥居は、その昔ミルクホールの先代が、
 提案し、私財を投じて建てた思い入れ深いものです。容赦ない時の流れを感
 ぜずにはられません。なにしろ老朽化に関しては、周りを見渡せばいつの
 間にかミルクホールの右にでる店は少なくなっているではありませんか。店の
 老朽化には確かに不安があります。が、自分達がその域に達して、ようやく赤
 い鳥居を建てた先代の心に少し近づいたような気が
 しています。明治に生まれ、大正・昭和、そして戦後を
 生き、時代の移り変わり、商売の隆盛と、没落を経験し
 て、改めて小町通りを眺め、そして決めたのだらうと思
 います。ここに赤い鳥居を建ててみよう。その目は、
 これからの、その先の、自分がこの世から居なくなっ
 ても続いていくだろう、小町通り商店街が見えていたの
 ではないでしょうか。毎日懸命に商売する人たち、
 晴れた日ばかりではないけれど、それでもここで商
 売を営んでいく人達、行き交う人々。そんな未来を
 先代は見据えていたのだらうと、思うのです。
 そして今、私達もここで商売をし、毎日小町通りを眺め
 ながら、色々な思いや、迷いを巡らせているのです。



次号へ続く

ミルクホールオリジナル 和の小もの
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を
素材に使った和の小もの色々です

手に触れて、身につけてみると、古い日本の素材の良さを
感じます。良質で華やかな日本の絹を試してみてください。

和の小もの

✂ 半衿・帯揚げ

★★各種半衿 新入荷
半衿は、着物のコーディネート
のポイントですね。半衿を替えてみる
だけで、着物の雰囲気さがらりと
変えて引き立てます。
鹿の子絞りや、ちり緬、小紋、矢
がすり、銘仙など、昔の着物を
ほどいて半衿に仕立てました。
大正風にアレンジするなら銘仙
など、絞りの半衿は体に心地よく
汚れ難いのが特徴です。

半襟 ¥800より
帯揚げ ¥800より

つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし

✂ かんざし

★ミルクホール製花のかんざし
大正・昭和初期の着物の生地で
可愛い花のかんざしを作りました。

花のかんざし ¥2500より

★ミルクホール製木のかんざし

木の棒1本だけで、髪をくるくる
まとめてアップにできます。
髪長さや質に合わせて、木の
棒の長さをお選び下さい。
とんぼ玉のかんざしもあります。
木のかんざし ¥1800より

★ミルクホール製くるみボタン

昔の着物をほどいて、小さな
くるみボタンを作りました。
くるみボタンの髪飾りもあります。

くるみボタン ¥100より
くるみボタンのコーム
¥1200より

✂ 帯・つくり帯

★★各種帯 新入荷
★★大正・昭和初期名古屋帯
★半幅各種

着物は、つついとおつくうになってしまいます。
せめて帯は簡単に結びたいものです。つくり帯を持
っていると着物が身近になってきます。初心者の方はも
ちろん、着物に慣れた方にも、お気に入りのつくり帯を
お持ちになることをお勧めします。またお買い上げの
帯もつくり帯にお仕立て致します。

名古屋帯お仕立て ¥3000より
二重たいこお仕立て ¥4000より

✂ 古布

使い方色々、長尺ものから、小さな端布
のアラカルトまで、様々な素材、色々な
サイズの布を揃えています。

絞り・小紋・銘仙・大島など、古い着物をほどいて
作っています。

値段の目安は1メートルで1000円ほどです。
希少価値のある柄物は、少し割高です。

端布組み合わせ ¥300より

★ 着物・アンティーク古着

素朴な味わいのある藍染めの木綿の着物多数、入荷しました。
木綿の単衣の着物は、ざぶざぶ洗って使えるのが魅力です。
試してみてください。

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの銘仙や
お召しの着物も入荷しています。

人気の大島紬	久留米緋	¥7800より
¥9800より	銘仙着物	¥6500より
他、小紋やちり緬など	お召し	¥6800より



ANTIQUES

古きよき時代の品々は
職人の手の温かさが伝わって
くるようです。是非手にとって
みてください。

♠ 和洋家具

- ★★大正時代水屋箆笥二段
- ★★昭和初期本棚
- ★昭和初期鏡台
- ★昭和初期食卓椅子・籐椅子
- ★昭和30年代本立て各種
- ★★昭和初期販売店用デスク
- ★★大正ガラスケース
- ★文机・ちゃぶ台

♣ 古陶磁

- ★★古伊万里碗・皿入荷
- ★★大正色絵各種
- ★伊万里7寸皿各種
- ★明治九谷絵皿・猪口
- ★瀬戸絵小皿
- ★大正時代火鉢
- ★初期伊万里陶片
- ★縄文土器欠片

★★砥部焼

鯨の染付、昭和20年代
四国の砥部焼が好評です。
なます皿は売り切れました、
猪口、小皿など
まだ在庫あります。

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

◆ アンティーク

- ★★昭和初期緑葉ビン各種入荷
- ★明治・大正のガラス各種
- ★★昭和初期色ガラスショットグラス
- ★昔の楽しいケーキ型色々
- ★★アメリカ製カーミット電話機(使用可)
- ★レプリカシェード ¥5800より

